

平成22年度事業報告書

平成22年4月1日から平成23年1月31日

I. 児童青少年育成事業

児童青少年育成事業とは、親子文化劇場の開催など文化活動を通じた児童又は青少年の健全な育成を目的とするものである。

1. 親子文化劇場の開催

親子文化劇場とは、舞鶴では、生の演劇に触れる事が少ないので、親子で優れた演劇を観てもらって、夢と感動を与え、人間の生き方を考える機会にしたい。

<第18回親子文化劇場>

開催日	平成22年8月3日(火)
場所	舞鶴市総合文化会館
共催者	舞鶴子ども育成支援協会
出演者	すわらじ劇園
演目	アラジンと魔法のランプ
来場者数	約1600人
来場対象者	幼児・小学生・父兄など
参加料	無料
開催案内方法	舞鶴市内の公民館と図書館及び、子育て支援センターに、ポスターとチラシと入場整理券を配布する。 商業施設のインフォメーションボードにポスターを貼る。

2. 生活文化向上作品展

生活文化向上作品展とは、夢と希望のある作品を制作し、出品できる機会を作り、生活文化の向上に寄与する。今年度も小学校の夏期の自由研究の形で提出される科学作品展を、更に発展させるために、努力・アイデアの観点から選出し、多くの人が集まる大型店で展示したい。子供達に大きな夢と希望を持って、科学の探求や生活文化の向上に取り組んで欲しい。

<第14回小学校生活文化向上作品展の開催>

開催日	平成22年9月18日(土)～9月19日(日)
場所	駅前の大型商業施設「らぼーる」1階 セントラルコート
出品作品数	48点
出品対象者	舞鶴市内の小学校児童
出品作品募集方法	舞鶴市小学校教育研究会・舞鶴市内の小学校の協力を得て、科学作品展に出品されている作品から、選定する。
出品作品選定方法	小学校の科学作品展に行き、選ぶ。
選定委員	(財)舞鶴文化教育財団理事長・理事

テーマ	科学研究や生活文化の向上に、アイデアや努力を持って、取り組む姿勢。
来場者人数	約1800人
来場対象者	幼児からお年寄りまで
参加料	無料
開催案内方法	舞鶴市内の小学校校長先生及び選出された保護者に案内文を送付する。

3. 文化興隆事業

文化興隆事業とは、日本の良き文化を継承し、発展していくために実施する。

＜第12回小学生書初め展＞

開催日	平成23年1月10日（月）
場所	「らぼーる」1階 セントラルコート
出品作品数	83点
出品対象者	舞鶴市立余内小学校6年生児童
出品作品募集方法	舞鶴市内の小学校に順番に依頼しており、今年度は舞鶴市立余内小学校に依頼した。
出品作品選定方法	選定するのではなく、学年全体で出品してもらう。
テーマ	新年らしい言葉
来場者数	約600人
来場対象者	小学生からお年寄りまで
参加料	無料
開催案内方法	作品を出品してもらっている小学校に文書で案内する。
記念品	出品してくれた児童に出す。

II. 教育、スポーツ、文化活動事業

教育、スポーツ、文化活動事業とは、教育、スポーツ、文化活動を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業である。

1. 教育関係事業

教育関係事業とは、当財団が主催する文化的教室などを通して、市民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を育成する。

(1) 教育研究の助成事業

教育研究の助成とは、舞鶴市に設立されている幼稚園、小学校、中学校、高等学校、国立高等専門学校、海上保安学校などにおいて、幼少期から青年期までの心身の発達と教育効果の高揚を期するため、教育関係の個人及び団体に対し、一層の研究の推進を図る。

① 助成先の選定方法

応募者は定められた書式により、書類を提出する。

選定委員は理事会で選出し、選定委員2名と当財団理事長で協議して決定する。

② 助成先の募集方法

各校長会に出席して、説明し、応募書類を配布する。

③ 助成金額

1研究につき、30万円以下とする。

<当期の活動状況>

アピール不足と助成の条件にあった該当先がなく、今年度は助成ができなかった。

来年度は、各教育機関の状況も把握し、インターネットも使い、積極的に活動したい。

(2) 舞鶴市中学校英語祭助成事業

舞鶴市中学校英語祭助成とは、主催は舞鶴市中学校教育研究会で、舞鶴市教育委員会と共催で実施している。舞鶴市内8中学校の各学年代表による、英語・スピーチコンテストを実施することにより、国際化時代に対応する英語力の育成を図る。

<第26回舞鶴市中学校英語祭(OEF)>

開催日	平成22年11月20日(土)
場所	舞鶴市南公民館 2階ホール
主催	舞鶴市中学校教育研究会
共催	舞鶴市教育委員会・舞鶴文化教育財団
対象者	舞鶴市内の中学校8校
応募者数	8校24名
入賞者数	4校9名
入賞選定委員	舞鶴市立中学校英語科教諭 2名 AET 2名
選定基準	声の大きさ・発音・スピーチの内容・発表態度
商品	入賞商品 楯 6名 参加賞 30名(参加者と受付などスタッフ)

(3) 文化・体育教室の開催

<ペーパークラフト教室>

開催日	平成22年8月18日(水)・8月19日(木)・8月20日(金)
場所	高橋ビル3階の教室
参加者	3日間で小学2年生から小学6年生の15人
時間	約2時間
講習代	500円
講師	アート&クラフトDUO本部 スクラップブックング・インストラクター 資格者

2. 文化教育等団体への助成事業

文化教育等団体への助成事業とは、文化、教育、スポーツ活動を行う団体への助成活動を通じて、市民の心身の健全な発達に寄与し、又は人間性を涵養することを目的とする事業である。

(1) チビッコソフトボール大会助成

チビッコソフトボール大会への助成とは、主催は舞鶴市PTA連絡協議会・社団法人舞鶴青年会議所で、地域における協働・連携の推進・青少年健全育成を目的に開催されている。舞鶴市内の小学生が、各町内を代表して1つの小学校から1~2チーム出場し、トーナメント形式で勝敗を決める。同時に絵画も募集し、大会当日優秀作品も展示されている。大会運営費や記念品を贈呈している。

<第39回市長旗チビッコソフトボール大会>

開催日	平成22年8月8日(日)
場所	東舞鶴運動公園陸上競技場
援助	チビッコソフトボール大会の運営費・ポスターコンクールの記念品等
参加チーム	32チーム
優勝チーム	A・B・C・Dゾーン各1チーム
来場者数	約500人

(2) 体育協会その他団体助成

体育協会その他団体への助成とは、一般社会において、法人・団体・組合などで組織活動を行う場合は、組織の範囲内で活動・運営することが当然であるが、新規事業を行う場合等に、資金不足に陥る事がある。そこで、外部からの援助を行う事により、活動が広がり社会貢献に繋がっていく。

<当期の活動状況>

嵯峨御流華道舞鶴司所創立70周年記念華展に使用する花器(つぼ)の助成

平成23年3月5日(土)・3月6日(日)式典予定

(3) 教育機関への助成事業

(ア) 海上保安学校助成

海上保安学校助成とは、日本でただ一つの海上保安学校は舞鶴の誇りであり、海国日本の海上交通安全や、海上警備のために、大きな役割を果たす海上保安官を養成している。この重要任務を担われている海上保安学校に対して、地元から声援を送りたいと、不足している図書・教材・楽器などの教育備品拡充の支援を実施している。

<海上保安学校に図書・教材・楽器を寄贈する>

寄贈品 図書・英語教材・楽器・楽器修理費用 予定

(イ) 学校法人聖ヨゼフ学園 日星高等学校助成

舞鶴市内にある唯一の私立の高等学校であり、第二次世界大戦後の混迷期から、一貫して女子生徒の情操や道徳面の教育に力点をおき、大きな成果を上げて来られた。更に男女共学になり、高等看護専門コースも併設され、広範な教育推進に専念されている。これまでも、図書やベッドなどの備品拡充に協力してきた。

<音楽クラブ楽器購入支援>

吹奏楽で使う楽器が学校に一つもない中、生徒は自分の楽器を持って活動をしている。楽器を購入する余裕が学校にはなく、買えない生徒は教師の個人持ちの楽器を使用している。

低音部の楽器をいれて重厚なハーモニーを創り、学校の野球の応援や発表の活動と舞鶴市内の行事やコンテストなどの参加も考えている。 ということである。

<贈呈式>

日時 平成22年11月19日(金)

場所 日星高等学校 3階音楽室

出席者(敬称略) 日星高等学校 学校長、クラブ顧問、教諭4名
音楽クラブ12名、生徒会3名

(財)舞鶴文化教育財団 理事長・理事

目録	チューバ	1台
	コンサートバスドラム	1式
	譜面台	10台
	ベースアンプ	1台
	ドラムペダル・スツール	1式
演奏披露	吹奏楽	日星高校の校歌
	軽音楽	カノンのロックアレンジ

3. スポーツ活動事業

スポーツ活動事業とは、チアリーディング活動などを行うことにより、市民の心身の健全な発達に寄与し、又は人間性を涵養することを目的とする事業である。

(1) チアリーディング活動

チアリーディング活動とは、「笑顔・元気・相手を思いやる」チアスピリッツを通して、生徒・児童の心身の健全な発達に寄与し、イベント等に出演して応援することにより、地域社会に貢献する。

メンバーの対象	幼児・児童・生徒		
チーム名	「チェリーズ」		
クラス	①ミニチェリーズ ②チェリーズC ③チェリーズA・B		
指導員	(社) 日本チアリーリング協会認定指導者 Class II 資格者		
費用	月額	ミニチェリーズ・チェリーズC	2000円
		チェリーズA・B	3500円

<当期の活動状況>

練習	毎週火曜日	午後4時から午後5時まで
	毎週火曜日	午後5時15分から午後8時まで
	毎週水曜日又は木曜日	午後5時15分から午後8時30分まで
	隔週土曜日	午前9時から午前12時まで又は午後1時15分から午後5時まで

(イベント前は毎週土曜日に練習する)

場所 舞鶴東体育館・舞鶴文化公園体育館・舞鶴市立倉梯第二小学校・東公民館舞鶴総合文化会館小ホールなど

10ヶ月間開催回数	約	138回
延べ参加人数	約	2,300人

競技参加予定

平成23年3月21日 第17回西日本チアリーディング選手権大会ジュニアスターチェリーズAB合同チーム出場予定

公演活動

平成22年7月4日 海上保安学校五森祭で海上保安学校音楽隊と共演する
参加チーム チェリーズA・B

	参加者	23人	
	来場者数	約260人	
平成22年7月24日	第24回中丹文化芸術祭「ジュニア文化祭」		舞鶴市総合文化会館
	参加チーム	チェリーズA・B	
	参加者	24人	
	来場者数	約1000人	
平成22年8月3日	第18回親子文化劇場のオープニングに出演する		
	参加チーム	ミニチェリーズ・チェリーズA・B・C	
	参加者	28人	
	来場者数	約1600人	
平成22年8月8日	第39回市長旗チビッコソフトボール大会のオープニングに発表する		
	参加チーム	チェリーズA・チェリーズBの選抜	
	参加者	15人	
	来場者数	約500人	
平成22年11月28日	第25回東地区ふれあいサンデーに出演する		舞鶴市東公民館
	参加チーム	チェリーズA・Bの選抜・チェリーズC	
	参加人数	10人	
	来場者数	100人	

(2) 体育振興事業

体育振興事業とは、身体を動かすことによって、市民の心身の健全な発達に寄与する。チームで活動することにより、相手を思いやる気持ちを育てる。

<健康体操教室の開催>

指導員	日本健康体操連盟健康体操指導士 資格者
開催日	毎月5回（各老人ホームで月1回実施する）
場所	特別養護老人ホーム安寿苑とデイサービス 特別養護老人ホームグリーンプラザ博愛苑と老人マンション 舞鶴市立安岡園
参加人数	各教室で約10名

<チアリーディング教室の開催>

指導員	(社)日本チアリーディング協会認定指導者 Class II 資格者
開催日	毎月2回
場所	学校法人京都荒巻学園みつる幼稚園
参加人数	年長児 約40名

<日星高校へのチアリーディングの指導>

指導員 (社)日本チアリーディング協会認定指導者 Class II 資格者

体験レッスン

開催日時 平成22年6月23日(水) 午後2時から午後3時

場所 学校法人聖ヨゼフ学園日星高等学校 講堂

参加人数 12人

チェリーズの練習に参加する

練習日 平成22年11月2日(火)

場所 剣道場

参加人数 5人

Ⅲ. 文化財保護事業

文化財保護事業とは、舞鶴市に係わる文化財の保護事業を通して、文化の発展に寄与する。

<神崎ホフマン窯保存活用事業>

現在、ホフマン窯は日本に4箇所残っているだけであり、神崎ホフマン窯は国の登録文化財に登録されており、また、数年前「建造物の近代化に貢献した赤煉瓦生産の歩みを物語る近代化産業遺産」として、認定された。この様に全国的にも貴重な近代化遺産、神崎ホフマン窯を保存し、後世に引き継いでいきたい。

第1回ホフマン窯会議

開催日時 平成22年4月22日(木) 午後1時～午後4時30分

場所 舞鶴市字神崎(神崎ホフマン窯所在地)

参加人数 15人

第2回ホフマン窯会議

開催日時 平成22年10月22日(金) 午前11時～午前12時30分

場所 舞鶴市字神崎(神崎ホフマン窯所在地)

参加人数 13人

現場説明会

開催日時 平成22年11月9日(火) 午前10時30分～午前12時

場所 舞鶴市字神崎(神崎ホフマン窯所在地)

参加人数 8人(3社が参加)

入札

開催日時 平成22年11月17日(水) 午前10時30分～午前11時30分

場所 舞鶴市字神崎(神崎ホフマン窯所在地)

参加人数 7人(3社が参加)

ホフマン窯 安全祈願祭

開催日時	平成22年12月9日（木） 午前11時～午前12時
場所	舞鶴市字神崎（神崎ホフマン窯所在地）
参加人数	14人
不定期な打合せ会議	19回
	12月15日から毎週水曜日に工事状況を報告する定例打合せ会議が開始 6回

IV. 国際交流事業

国際交流関係事業とは、外国の風土や文化を理解することにより、国際感覚を養い、外国人・留学生など、地域で生活している人が増えている現状の中で、外国人と市民が直接、交流できる場を提供する。

（1） 発展途上国への学校設立基金助成

発展途上国への学校設立基金助成とは、理事会のなかで、国際化時代に即して発展途上国への教育助成を行ってはどうかという意見が、以前から出されていた。そんな中で国際交流関係事業を通して「特定非営利活動法人ネパール・ムスタン地域開発協力会(MD S A)」との出会いがあった。MD S Aでは、舞鶴市や綾部市の市民も活動に参加していて、ネパール・ムスタンの現状を知ることになった。学校・附属施設設立及び増改築に関して援助を行ってきたが、9月19日の「特定非営利活動法人ネパール・ムスタン地域開発協力会 (MD S A)」の総会で、来年度の現地活動を支える資金の見通しが見つからないという現状が明確にされ、平成23年6月をもって、解散するという決定がなされた。「特定非営利活動法人ネパール・ムスタン地域開発協力会 (MD S A)」は、ネパール、その中でも貧しい地域である、アッパームスタンの学校建設、農場建設及び経営などを、現地の人々をサポートしながら、20年間に亘り活動されてきたので、残念である。

<当期の活動状況>

助成金対象先	特定非営利活動法人ネパール・ムスタン地域開発協力会(MD S A)
助成先選定方法	理事会にて決定
助成金額	約120万円 予定
助成目的	ネパール・ムスタンの学校果樹園建設

（2） 国際児童画展の開催

3月12（土）～3月13日（日）の開催予定で準備をしている。

（3） 第9回まいづる留学生交流会

2月6日（日）の実施にむけ、準備中である。